

県内企業景気動向調査報告（2022年4～6月期）

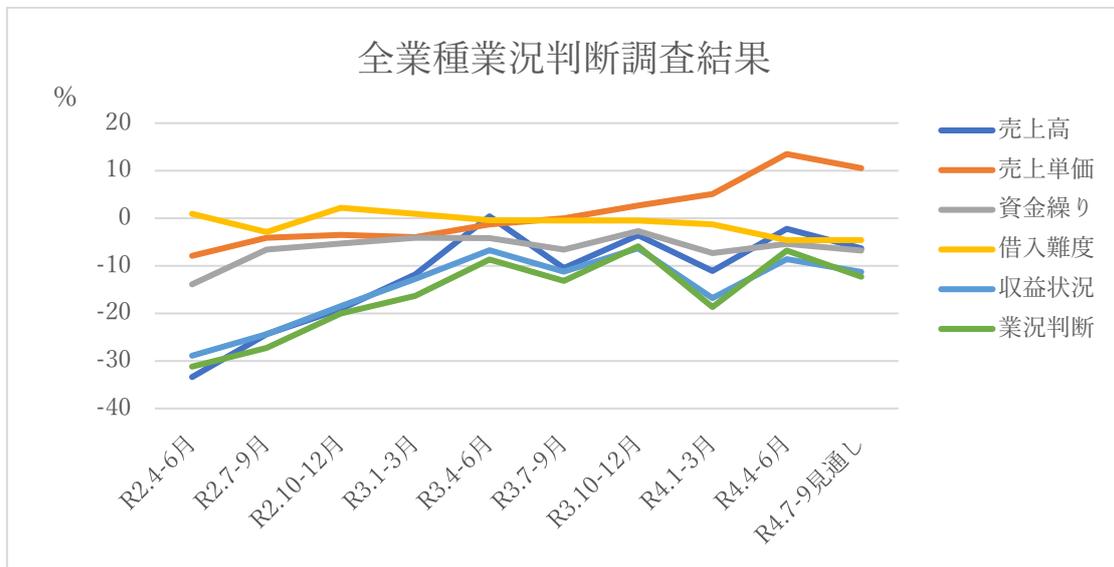
今期の「業況判断」は全業種で上昇するも、来期は再び下降する見通し

調査対象 鳥取県内企業（鳥取県下4商工会議所の調査による）  
 回収数 113社【製造業34社、非製造業79社（建設業22社、卸売業18社、小売業21社、サービス業18社）】

＜今期・来期の状況＞

全業種における今期の状況は「売上高」「資金繰り」「収益状況」「業況判断」の5つの項目で前期よりも上昇している。最も上昇を示したのは「業況判断」で、前期から11.9ポイント上昇した。業種別の「業況判断」では、製造業が前期から4.4ポイント、非製造業が12.4ポイントの上昇を示した。非製造業は全ての業種で上昇傾向を示しており、最も上昇が大きかったのは小売業で、前期から22.2ポイントの上昇となっている。

来期の見通しについては、「売上高」「資金繰り」「収益状況」「業況判断」の4つの項目で下降する見通しとなっており、「売上高」では4.1ポイント、「資金繰り」では1.4ポイント、「収益状況」では2.7ポイント、「業況判断」では最も大きい5.5ポイントを示した。業種別の「業況判断」では卸売業とサービス業以外の業種で下降の見通しとなり、最も下降が大きかったのは小売業の14.2ポイントであった。



業種	前年同期比*( )内は2021.4～6月期の数字						末期(2022.7～9期)見通し*( )内は前年同期の数字						
	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全産業合計	113	-22 ( 0.4 )	135 ( -1.3 )	-54 ( -4.2 )	-46 ( 0.9 )	-66 ( -6.7 )	-68 ( -8.7 )	-63 ( -5.0 )	105 ( 0.9 )	-68 ( -7.2 )	-46 ( 0.9 )	-113 ( -8.0 )	-123 ( -9.3 )
製造業	34	2.9 ( 15.4 )	11.8 ( 0.0 )	-10.3 ( -2.6 )	-5.9 ( -1.3 )	-5.9 ( -2.6 )	-5.9 ( -6.5 )	4.5 ( 7.7 )	20.6 ( 0.0 )	-11.8 ( -9.0 )	-10.3 ( -1.3 )	-7.4 ( -1.3 )	-10.3 ( -5.3 )
非製造業	79	-4.4 ( -6.7 )	14.3 ( -1.9 )	-3.3 ( -5.0 )	-4.0 ( 2.0 )	-9.8 ( -8.7 )	-7.3 ( -9.8 )	-10.9 ( -11.1 )	5.9 ( 1.3 )	-4.6 ( -6.3 )	-2.0 ( 2.0 )	-13.0 ( -11.2 )	-13.2 ( -11.3 )
(建設業)	22	-16.0 ( -18.8 )	-4.8 ( -6.3 )	4.6 ( 0.0 )	2.4 ( 0.0 )	-13.7 ( -19.6 )	-7.2 ( -16.7 )	-13.7 ( -20.9 )	-4.8 ( -2.1 )	0.0 ( -4.2 )	2.4 ( 0.0 )	-18.2 ( -20.9 )	-11.9 ( -21.8 )
(卸売業)	18	8.4 ( 5.6 )	27.8 ( 0.0 )	0.0 ( -2.8 )	0.0 ( 2.8 )	-13.9 ( -2.8 )	-20.6 ( -5.6 )	8.9 ( -8.9 )	17.7 ( 2.8 )	-2.8 ( -2.8 )	0.0 ( 2.8 )	-5.6 ( -5.6 )	-11.8 ( -5.6 )
(小売業)	21	-14.3 ( -11.9 )	21.4 ( 0.0 )	-12.5 ( -7.2 )	-16.7 ( 2.5 )	-16.7 ( -14.3 )	-9.6 ( -9.5 )	-31.0 ( -22.5 )	9.6 ( 0.0 )	-15.0 ( -7.5 )	-7.1 ( 2.5 )	-23.8 ( -20.0 )	-23.8 ( -22.2 )
(サービス業)	18	8.4 ( 2.6 )	14.7 ( 0.0 )	-5.9 ( -11.1 )	0.0 ( 3.2 )	8.4 ( 5.3 )	8.8 ( -5.3 )	-2.8 ( 7.9 )	2.9 ( 5.3 )	0.0 ( -11.6 )	-3.2 ( 3.2 )	0.0 ( 5.3 )	-3.0 ( 0.0 )

＜直面している経営上の問題点＞

- 1位：原材料・仕入価格上昇 (26.62%)
- 2位：消費・需要の停滞 (13.31%)
- 3位：経費の増加 (12.01%)
- 4位：売上・受注の減少 (11.69%)
- 5位：人手不足 (9.74%)

＜業種別の問題点等＞

- ◆建設業

- ・民間建築には相応の引き合いはあるが、土木工事の公共工事発注が県東部においては厳しい環境である。

◆製造業

- ・各種値上げの状況は続いており良くない状況です。それに追い打ちをかけるようにメディアは「値上げの夏」なんて言葉を使って報道してしまっています。当然、消費者のマインドは下がり、先延ばしにする買い物もできません。出口が見えない状況です。

◆卸売業

- ・コスト増を販売価格には転嫁することが厳しい

◆小売業

- ・円安による影響が仕入れに大きく反映されてきた。売価にもなかなか転嫁できず困惑している

◆サービス業

- ・コロナの影響から脱出できておらず、人手不足も深刻な状況です。1件あたりの客数も減少傾向で労働生産性は悪化したままです。引き続きの支援をお願いします。原材料・光熱費の上昇も重たい課題です。